## 2021 年度 桐朋女子中学校入学試験 (B入試)

## 筆記試験(社会)

## 【注意】

- (1) 問題冊子が配られても、開いてはいけません。
- (2) 問題冊子は1ページから10ページまであります。
- (3) 「はじめてください」と言われたら、まず、問題冊子の表紙と解答用紙に、それぞれ受験番号と氏名を書きなさい。
- (4) 答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- (5) 語句を答えるときは、漢字で書けるものは漢字で解答しなさい。
- (6) 問題冊子に書きこみをしてもかまいません。
- (7) 解答用紙の※印の空らんには何も書いてはいけません。
- (8) 「やめてください」と言われたら、すぐに筆記用具をおき、解答用紙も問題冊子も表を上にして、机の上におきなさい。
- (9) 試験時間は30分間です。

受	験番号	氏名	
受	験番号	氏名	

1 弥生時代から江戸時代までの人々の国際的な交流について述べた次の文 を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本ではおよそ1万年続いた縄文時代の後に、弥生時代がやってきました。 アジア大陸から多くの人々が日本列島に渡ってきて、稲作をはじめさまざまな技術や文化を伝えました。その中には、土をほり起こすときに使うくわやすき、稲を収かくするときに使う石包丁や、収かくした稲をしまっておく高床倉庫など、さまざまな道具の他、<u>a)青銅器</u>や鉄器などの金属製品も伝えられました。こうして稲作を中心とする日本社会のきそが作られていきました。

古墳時代にも中国や朝鮮半島から多くの人々が渡ってきました。そのころ、中国や朝鮮半島では戦乱も多かったので、戦乱をさけて日本列島にやってきたようです。その人たちの中には b)特しゅな技術を持った人々もいて、ヤマト政権は彼らを集団のまま住まわせてその技術を利用しました。

c) 飛鳥、奈良時代になると朝廷はたびたび使者を派遣し、中国の先進的な 王朝から優れた制度や文化を学びました。国家をおさめるためのしくみであ る律令制度や、仏教なども伝えられました。奈良・東大寺に残る d) 正倉院に は、中国をはじめシルクロードを通ってインドやペルシャの文化のえいきょ うを受けたさまざまな品物が伝わっています。

使者の派遣が停止された平安時代には、人々は日本独自の風土や日本人の感性にあった文化を作り出しましたが、その一方で中国や朝鮮半島との間でe)商人がさかんに行き来して、大陸でつくられためずらしい品物が日本にもたらされました。そうしたものは「舊物」と呼ばれ、貴族たちのあこがれのものでした。次の鎌倉時代には商人の往来とともに、f)僧侶がたびたび中国に渡って仏教の勉強を重ねたり、新しい仏教の宗派を伝えたりしました。

戦国時代には、初めてヨーロッパ人が日本にやってきました。<u>i)キリスト教の宣教師が次々にやってきて</u>布教活動をしました。それとともに貿易もさかんに行われ、鉄砲だけでなく、世界地図や時計、ガラスの食器、くつ、マントなど、さまざまなものが伝えられました。<u>j)パン、カボチャ、タバコ、シャボン、カルタ、ボタン、ビロードなどはいずれもこの時代に入ってきた言葉</u>で、ポルトガル語に起源をもつ言葉です。

江戸時代は「鎖国」の時代でしたが、長崎にはオランダ人や中国人がさかんにやってきて、貿易をしました。西洋医学や<u>k)測量学、天文学など、</u>
蘭学とよばれる学問が国内で発展しました。

問1 下線部 a) について、弥生時代に作られた青銅器には次のようなものがあ ります。これらは共通してある目的で使われましたが、それはどのような 目的だと考えられますか、そのように考えた理由もふくめて説明しなさい。



かざりや絵がたくさん つけられたものがある。

桶をとりつけるための 刃をとぎだして 穴があいていない。

いない。

問2 下線部 b) について、特しゅな技術を持った人の中には「錦織部」と呼ば れる人々がいました。この人たちは、何を作る人々でしょうか。正しいも のを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 鉄製品

イ 高級繊維

ウ 金細工

エ 高級焼き物

問3 下線部 c) について、飛鳥時代から奈良時代にかけて中国に派遣された使 者を何というか答えなさい。

問4 下線部 d) について、次の図の文化財の中で、正倉院の宝物としてあやま っているものを1つ選び、記号で答えなさい。



問5 下線部 e) について、平安時代の末に平清盛は中国との貿易をさかんに行いました。その時、中国の船を都の近くまで引き入れるために港を築きました。その港の場所として正しいものを次の地図の中から1つ選び、記号



問6 下線部 f)について、次の文は鎌倉時代の禅宗の僧、栄西がもたらしたあるものを示しています。それは何か答えなさい。

これは緑色の粉状の薬で、内臓の働きをととのえる効果を持っている。飲む時は、その粉を椀に入れ、お湯でとくが、その時、竹でできたほうきの形をしたものでよくかき混ぜてといていく。飲むと少ししぶみを感じる。しかし飲んだ後は口の中はすっきりとし、頭もすっきりとさえ、身体の調子もととのえられた感じがする。この粉薬の作り方は、原料となる木が夏になると青々とした葉をつけ、その葉をつみとってむした後、乾そうさせてから石うすで粉にひくと、色あざやかな緑色をした粉薬ができる。

- 問7 下線部 g) について、この貿易が行われるときに、正しい貿易船であることを証明するために、合い札を持っていくことが義務づけられました。その合い札のことを何というか答えなさい。
- 問8 下線部 h) について、次の中で枯山水の庭園の図として正しいものを1つ 選び、記号で答えなさい。





ウ





- 問9 下線部 i) について、キリスト教の宣教師の中で、最も早く日本にやって きた人物を答えなさい。
- 間 10 下線部 j) について、この時代に海外から調理法が伝えられた日本料理を 1つ選び、記号で答えなさい。

アすし

イ おでん

ウ 天ぷら エ さしみ

問 11 下線部 k) について、伊能忠敬は日本全国の測量を行い、日本地図を作り ました。どのようにして測量したのでしょうか。次の文を読んで、その方 法を短くまとめて説明しなさい。

私は毎日、自分の家から浅草の観音様まで歩いていきました。毎日同じ 時刻に家を出て、観音様をお参りして帰ってきたときに、何歩で歩いてき たか、何分かかったか、記録しました。半年たつころには、歩数もかかっ た時間もほぼ同じになってきました。こうして私の速さで歩くと歩数と時 間から歩いたきょりがわかるようになりました。

まずは北海道の根室まで測量しました。昼間は道に沿って歩きながら、 きょりを測っていきます。また曲がったところでは方位じしゃくを使って どのくらいの角度曲がったかを調べます。宿場に着くと宿にとまります が、晴れた晩には大きな分度器を取り出して星の角度がどうなったかを調 べて、自分が移動したきょりを確かめます。それが終わると一日の測量の 結果を細かく記録していきます。そのため、ねるのは深夜遅くになり、ね 不足のまま次の日の測量をすることも多かったです。くもりや雨の日の晩 はぐっすりねむることができました。こうして前後 10 回測量に出かけ、 北は北海道の宗谷岬、南は鹿児島の佐多岬まで測量し、日本全図を作って いったのです。

② 明治時代から現在の移民と日本社会の様子について述べた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本では、明治時代の初めから<u>a)北海道</u>への移住がすすめられました。また、日本社会に出かせぎへの切実な欲求があり、多くの日本人がハワイやアメリカ本土、カナダ、中南アメリカ、東南アジア、オーストラリアなどの海外に移住しました。その人たちは<u>b)砂糖</u>やコーヒーの原料を栽培する農園で働き、鉄道・道路や炭鉱・鉱山の建設にたずさわりました。自ら森林をばっ採して農地を開たくする人や商業、サービス業を営む人も現れました。日本に長く仕送りを続ける人もいれば、移住先を変える人や数年で帰国する人もいました。移住先で移民が増加すると、世界各地に日本人町などの日本人社会ができました。日清戦争をきっかけに、日本は東アジアに勢力を拡大しました。そのため、台湾、朝鮮、中国、樺太などへの日本人移民が増加しました。

昭和の初めには、都市では不景気のために失業者が増え、農村では作物の値段が下がって、生活が苦しくなる人々が多くなりました。一部の軍人や政治家は、「満州を日本のものにすれば、国民の生活はよくなる」という考えを広めました。日本が満州全域を植民地化し日中戦争が始まると、日本から中国への移住が増大しました。さらに、太平洋戦争の前後には、日本人の東南アジアせん領地への移住が急激に増えました。戦争は、移民を増加させる原因であると同時に、多くの移民にとっては非常につらい試練となりました。

1945 年、連合国によるせん領下の日本では、新たな海外移民は禁じられました。 c) 敗戦直後の日本では、食べものや着るものもなく、栄養失調でなくなる人もいました。 1946 年、新しい国づくりの基本となる d) 日本国憲法が公布され、翌年から施行されました。 1952 年、日本が独立を回復すると、南アメリカへの農民の移住が再開されましたが、その数は戦前に遠くおよびませんでした。 e) 1960 年以降の高度経済成長期には、日本の海外移住者は激減しました。

現在、日本には約200万人の外国人が住んでいます。その多くは、戦前から日本に住む在日韓国・朝鮮人や中国人、1990年以降に来日した日系ブラジル人やペルー人などです。また、留学生として来日した後、定住する外国人や、農村にとついだ外国人などもいます。日本は、外国人の受け入れを高度な専門知識や技術を持つ人に限定していて、工場などの労働者の入国を制限しています。現在は、f)数多くの日系ブラジル人やペルー人が「デカセギ」労働者として来日し、工場などで働いています。最近では、外国人が農業、漁業、建設業、工業、看護、介護の分野でなくてはならない存在になっています。今後日本では、さらに多くの移民を受け入れるかどうかが、課題になっています。

問1 下線部 a) について、北海道に関する次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

北海道は、古くから【 A 】の人々がくらす地域でした。しかし、明治政府は広大な土地が農業に向いており、豊かな地下資源や水産資源を確保できると考えました。そこで、北海道を日本の領土として農地改革を行い、兵士もかねた電笛兵を送りました。

北海道の気候の特ちょうは、長い冬です。オホーツク海に面した地域では、海水がこおってできた【 B 】が流れ着きます。【 B 】や海流によって栄養分がもたらされるので、北海道は水産資源が豊富です。北海道の自然条件は米作りには向きませんが、長年にわたる品種改良の結果、日本有数の米の生産地となりました。火山ばい地が広がる十勝平野では、大豆、ジャガイモ、ニンジンなどの生産がさかんです。また、北海道東部の【 C 】台地では、夏のすずしい気候を利用して、暑さに弱い乳牛を育てるらく農がさかんです。

- (1) 文中の $\begin{bmatrix} A \end{bmatrix} \sim \begin{bmatrix} C \end{bmatrix}$  にあてはまる語をそれぞれ答えなさい。
- (2) 北海道の水産業について、<u>あやまっているもの</u>を1つ選び、記号で答えな さい。
  - ア 北方領土の周辺の海では自由に漁ができないため、定められた期間に ロシアに協力金を支払い、漁を行っている。
  - イ 栄養豊富な黒潮の影響で、根室港はタラやサンマの水あげ量が多いことで有名である。
  - ウ 排他的経済水域による規制のため、オホーツク海や北太平洋で行われている遠洋漁業は大きく制限されている。
  - エ 川がコンクリートで固められたり、きょ大なダムがつくられたりした 影響で、川を上るサケ、マスの数は減少している。

(3) 表1は北海道の特産物の都道府県別主産地を表しています。表中のX・Y にあてはまる県名の組み合わせとして正しいものを下から1つ選び、記号で答えなさい。 【表1】農産物の主産地(2018年)

アX:茨城Y:福島イX:岩手Y:長野ウX:秋田Y:千葉エX:青森Y:兵庫

米	(t)	大豆 (t)	
新潟	646, 100	北海道	88, 400
北海道	588, 100	宮城	15, 100
X	526, 800	X	13, 900
山形	404, 400	福岡	8,830
宮城	376, 900	滋賀	7,830
ニンジ	ン (t)	生乳	(t)
北海道	164, 200	北海道	3, 965, 378
Y	109, 400	栃木	332, 436
徳島	48, 700	熊本	252, 066
青森	37, 400	群馬	214,877
長崎	32, 500	Y	201, 357

(農林水産省「作物統計」より作成)

- 問2 下線部b) について、砂糖について述べた文として<u>あやまっているもの</u>を 1つ選び、記号で答えなさい。
  - ア 沖縄県は、高温多湿のもとでよく育つサトウキビを多くの農地で生産 しているため、日本で最もサトウキビの生産量が多い。
  - イ 沖縄県と鹿児島県では、サトウキビを他の地域で気温が下がる冬の時期に、日本全国に向けて出荷している。
  - ウ 日本から見るとちょうど地球の反対側にあるブラジルは、サトウキビ の生産量が多い国の1つである。
  - エ 北海道のような寒い地域では、砂糖の原料となるテンサイをさいばいしている。
- 問3 下線部 c) について、戦後の日本ではユニセフから物資がえん助され、小学校の給食などを通して子どもたちに届けられました。国際連合について述べた文としてあやまっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
  - ア 国際連合では、安全保障理事会が中心となって、戦争を防いだり、国 どうしが調停を結ぶ仲立ちをしたりしている。
  - イ ユネスコは、世界遺産の修復や保存などの教育や文化の分野で、世界 の平和につながる活動を行っている。
  - ウ 日本の自衛隊は、南スーダンなどで PKO に参加し、道路の補修など の土木工事を行っている。
  - エ WHOは、難民となった人々の人権や安全を守り、生活を支える活動を行っている。

問4 下線部d)について、あとの問いに答えなさい。

1946年、日本は新しい憲法を作りました。その主な内容は、過去の戦争への反省から平和主義を定めること、それまでの天皇主権をやめ、X)国民を主権者とすること、基本的人権を尊重することです。これらをまとめて憲法の三大原則と呼んでいます。

憲法にはさまざまな国民の権利と  $\underline{Y}$ )義務が定められています。これらは私たちがお互い、平和で幸せにくらしていくためのものです。権利と権利が対立した場合には、多くの場合で多数決のルールが用いられますが、少数者の意見にも十分耳をかたむけることが必要となります。また、それ以外にも内容によっては、法律にてらし合わせて話し合いを行ったり、新しいルールを作成したりして解決を図ります。

- (1) 下線部X)について、日本国民とは日本国せきを持っている人を示します。 あとの文のうち、日本国民以外の外国人にも認められているものをすべて 選び、記号で答えなさい。
  - ア選挙で国会議員を選ぶことができる。
  - イ 最高裁判所の裁判官がその仕事にふさわしいかどうか、審査すること ができる。
  - ウ さぎなどの被害にあった場合、裁判所にうったえることができる。
  - エ 憲法改正の国民投票に参加することができる。
  - オ 生活が厳しくなった場合、国や地方自治体からの資金えん助を受けることができる。
- (2) 下線部Y)について、日本国憲法が示した国民の義務のうち、【 】に あてはまる語を答えなさい。
  - ・子どもに教育を受けさせる義務
  - 働く義務
  - ・【 】を納める義務

問5 下線部 e) について、高度経済成長期の人々のくらしに関して述べた次の 文の【 A 】、【 B 】にあてはまる語をそれぞれ答えなさい。

1964年に【 A 】が開かれたころから、国内では新幹線や高速道路が整備され、日本は世界有数の工業国になりました。農村では、都市に働きに出たり移り住んだりする人が増えました。産業が発展していく中で、生産活動によって環境が汚染され、人々の健康や命がおびやかされる四大【 B 】病が発生しました。

- 問6 下線部 f) について、あとの問いに答えなさい。
- (1) 日本の工業について述べた文として<u>あやまっているもの</u>を1つ選び、記号で答えなさい。
  - ア 日本にある工場の 99%以上は中小工場であるが、生産額の大きさでは 大工場が全体の半分以上をしめている。
  - イ 日本では、1980年代の半ばから、自動車や家庭用電気製品、IC部品などの生産を行う工場を海外に移す現象がみられる。
  - ウ 日本で最も生産額が多いのは京浜工業地帯で、その生産額の6割以上 を機械工業がしめている。
  - エ 内陸にある工業地域では、原料の輸送や製品の出荷に、高速道路を利 用している工場が多い。
- (2) なぜブラジル人やペルー人は「デカセギ」労働者として来日するのか、そ の理由を説明しなさい。

問7 表2、表3が表すように、現在、日本国内にはさまざまな国、さまざまな年齢の外国人が生活をしています。

【表2】日本に住む外国人の出身国(2019年)

出身国	総数(人)	割合 (%)
中国	786,241	27.7
韓国	451,543	15.2
ベトナム	371,755	14.0
フィリピン	277,409	9.6
ブラジル	206,886	7.2
ネパール	92,804	3.3
その他	642,778	23.0

(総務省「在留外国人統計」より作成)

【表3】年齢別外国人の割合(2019年)

年齢(才)	割合 (%)
0~9	6.3
10~19	7.1
$20 \sim 29$	30.3
30~39	22.0
40~49	14.5
$50\sim59$	10.5
60~69	5.6
$70 \sim 79$	2.6
80以上	1.1

(総務省「在留外国人統計」より作成)

私たちがともに生きる社会をつくるためには、どのような課題があると 考えられますか。また、その課題を解決するためには、どのようなくふう が必要か、あなたの考えを書きなさい。